

01 ネット時代の  
成功例に学べ!

わかりやすい説明動画で  
不安を解消

▶ 雑貨や家具などを簡単に売買できるフリマアプリが多くの人に利用されている。だが、使い方がわからなかったり、トラブルを心配したりして、利用をためらう人も少なくない。そこで、アプリの運営会社が使い方をレクチャーする動画を公開した。

動画は全部で10本。アプリのインストールと会員登録の方法、基本的な使い方から、出品中の対応、発送について社員がレクチャー。安心に取引できて、トラブルを防止できる仕組みについても楽しく説明されている。

この動画を見て、不安が解消されて使用を検討したユーザーもいるようだ。

▶ 横浜市にある歯科医院のサイトで、新型コロナウイルスの感染予防策が動画で紹介されている。テーマは「手の正しい洗い方」や「正しいマスクの使い方」などで、知らなかったことや、間違っていて憶えていたと気付かされることも多い。

動画は2~3分のCGアニメに字幕で説明が入るだけの簡単なもの。病院の待合にあるモニター画面に流れるデジタルサイネージ番組の会社が制作した。重要な情報なので、サイトのアクセス増にもつながるだろう。

02 繁栄企業の  
成功要因を探る

知る人ぞ知る  
人気の変わり宿

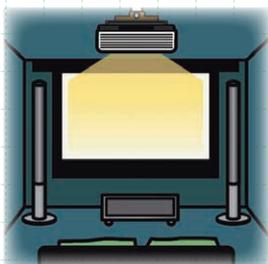
▶ 青森県弘前市で、昭和40年代に建てられてスナックが多く入居していたビルがホテルにリメイクされた。

廊下は昔と同じく両側にスナックやバーの看板が並び、昭和の雰囲気を感じている。ところが、ドアを開けるとそこは最新の機能と設備の客室。部屋は6人が泊まれる和室や白を基調とした清潔な洋室など11タイプ。「ノスタルジックな雰囲気、とても不思議な感覚で宿泊できました」と利用客の評判は上々だ。

常駐スタッフはなく、予約はホームページで受け付けている。宿泊客はメールで送信された暗証番号をデジタルキーに入力してチェックインする。完全非対面で、コロナ禍に安心なホテルでもある。

▶ 東京都の多摩地域西部、豊かな森林の中に“泊まれるシアタールーム”がボツと1棟だけ建っている。100インチの4Kプロジェクターと、7.1チャンネルサラウンドシステムを完備し、敷地は5000坪で近隣に民家がないため夜でも大音量で存分に楽しめる。屋外にはウッドデッキがあり、バーベキューもできる。

利用は1組限定で6名まで宿泊可能。連日予約が取れないほどの人気だ。



Check!  
要チェック! 進化するプロモーション手法に  
必要な基礎知識

▶▶▶ 見る動画から触る動画へ、ユーザーを  
能動的にするインタラクティブ動画《後編》

動画上にリンクや選択肢などのインタラクティブ(双方向)な仕掛けが施され、ユーザーが情報を選んで見られるインタラクティブ動画。すでに様々なタイプの動画がマーケティングで活用されている。

● ランディングページへ誘導

インタラクティブ動画は広告の他に、ランディングページへの誘導に利用できる。

クレジットカードM社のサイトでは、スパイ映画のような動画を公開した。新米課報員に機密情報の入ったアタッシュケースの奪還と依頼人を返還するミッションが届け、随所にストーリーの進行を決める選択肢と同社のカードの紹介が入る。そして、完全視聴するとランディングページに誘導される。

参加型の動画はゲームのように楽しく、ユーザーの興味を惹きつけながらサイトへと誘うことができる。

● 説明会や展示会の疑似体験

印象に残りやすく、理解しやすいインタラクティブ動画は、説明会や展示会の疑似体験にも役立つ。

大手結婚相談所のインタラクティブ動画は、相談員が登場してサービスの簡単な紹介から始まり、性別を選択してスタート。ユーザーは気になることを、動画上に表示された「どんな相手がいいのか」「婚活がなぜうまくいかないのか」などの項目から選ぶ。すると、それぞれについて同社独自のサービスが短い映像で紹介される。さらに、その画面ではテキストの説明も読める。簡単な動画だが、見た人に安心感を与えるようになっている。

● ECサイトへの誘導

インタラクティブ動画からECサイトへ誘導して購入につなげる方法も使われている。

ヘアアイロンメーカーA社が、女性数々が楽しく自社製品を使ってヘアセットをしている動画を公開した。その中で使用するヘアアイロンにハートマークのタグがついていて、タップすると商品画像と商品名、その説明が表示され、さらに商品購入サイトへのリンクもあった。

2021年2月と3月、インタラクティブ動画のドラマがネット配信された。動画内の女優の衣装についているタグをタップすると、服の写真と値段、動画によるスタイリストの解説を見られて、ECサイトで購入も可能。ECサイトへの平均遷移率は50%以上を記録した。

このように様々な形で活用できるインタラクティブ動画を目にする機会が、今後さらに増えるだろう。